

(あて先) 富士市長

2012 年 9 月 5 日

富士市生ごみコーディネーター出前講座及び啓発活動報告書

(月分)

団体名 NPO法人 富士市のごみを考える会
氏名 縣 昌 司

・出前講座を開催した場合、講座内容等を具体的に記載してください。(別紙も可)

・地域でごみ分別等の啓発活動を行っていただき、その際に地域住民からの要望等があればその内容を記載してください。

実施日時	会場	対象	参加人数	講座内容・地域住民からの質問・要望等
7月4日 8:30~10:00	吉原小学校	小学4年生(107名) 環境教育	9名	講座内容は添付の実施企画書通り
7月11日 8:30~9:00	同上	同上	3名	
8月31日 8:30~10:00	同上	同上	10名	
7月5日 13:40~15:15	青葉台小学校	小学4年生(88名) 環境教育	10名	講座内容は添付の実施企画書通り
7月13日 8:00~9:00	同上	同上	3名	
9月4日 10:25~12:05	同上	同上	10名	
月 日				
: ~ :				

※ 出前講座を開催した場合については、報奨費の対象になります。口座未登録の場合は、口座振込み申請書が必要になります。

富士市立吉原小学校環境授業

実施企画書(案)

NPO法人富士市のごみを考える会

- 日時：第1日目 平成24年7月4日(水) 午前8:30~10:00
：第2日目 平成24年7月11日(水) 午前8:30~8:40
：第3日目 平成24年8月31日(金) 午前8:30~10:00
- 対象：富士市吉原小学校 4年生3クラス107名 1クラス4班 合計12班
- 事業内容
 - ① 3R紙芝居
 - ② 生ごみ資源化:「EMぼかし」
 - ③ リサイクルについて (テーマは学校からの要望を受けるが事例としてペットボトルを紹介した。)
- ねらい：①ごみを作らないためにはどうしたらよいかを学び気づく。
②ごみは、自分の気づき次第で、ごみではなくなることに気づく
③生ごみは、臭くていやなものと思っていたが、実は地球の宝物であることに気づく
- スタッフ：NPO法人富士市のごみを考える会より、講師派遣4名、スタッフ3~4名
- 生徒持ち物：①生ごみ
- 学校に用意していただくもの
 - ① スクリーン(パソコンとプロジェクターは持ち込みますので、それを投影できるもの)
 - ② 延長コード (パソコン用、プロジェクター用)
 - ③ パソコン・プロジェクターをおく椅子かテーブル1つ
 - ④ ぼかしを作るバケツ (班の数分) バケツ:12個、
 - ⑤ ぼかし:学校で用意 12袋(各班1袋)
 - ⑥ 気づいたことを書き取るノート
 - ⑦ バケツの下に引く新聞紙かビニールシート (生ごみをこぼしたときのため)
 - ⑧ 生徒たちは、班ごとに体育すわりをして、話を聞く体制作り
 - ⑨ 虫眼鏡、
 - ⑩ スプーン (ぼかし用): 事例 粉石けんに入っている計量カップ
- 当会で用意する物品
 - ① (3Rのはなしデーター)梅原→小野=時田 (USBメモリー化)
 - ② ノートパソコン 時田
 - ③ プロジェクター 小野→時田
 - ④ 生ごみ冊子 (フィランセから) 縣
 - ⑤ 写真機 時田

授業の流れ(案)

7月4日(木)

時間	内容	対象	担当
8:30 (5分)	導入 挨拶・スタッフ紹介		先生 (縣)
8:35~8:55 (20分)	富士市のごみの現状について	全員	(小野)
8:55~9:15 (20分)	3R紙芝居 「富士山とごみと私 part 1」	全員	(梅原)
9:15~9:45 (30分)	生ごみ資源化実験-EM ぽかし 組・班ごとに分かれて行なう	全員	(竹内) スタッフ全員
9:45~9:55 (10分)	まとめ・感想発表	全員	(小野)
9:55~10:00 (5分)	終わりの挨拶	全員	先生

縣：時間管理、

吉原小環境教育

2日目 (7月11日) (水)

授業の流れ (案)

時 間	内 容	担当者
8:30	4年生全員：各班が EM ボカシのバケツを持って 4年生用の畑に集合	先生
8:30~8:40	各班ごとにバケツの生ごみを畑に埋める。目印をつけておくこと。	(小野、竹内)

3日目 (8月31日) (金)

授業の流れ(案)

時 間	内 容	担当者
8:30~8:35 (5分)	導入 挨拶・スタッフ紹介	先生 (縣)
8:35~9:15 (40分)	校庭にて校庭に埋めた生ごみの状況及び 虫等 観察	(縣、竹内) スタッフ 全員
9:15~9:45 (30分)	ペットボトルのリサイクルについて	(時田) スタッフ全員
9:45~9:50 (10分)	感想発表	(小野)
9:50~10:00 (5分)	終わりの挨拶	先生

縣：時間管理

NPO法人富士市のごみを考える会

縣 昌司 (63-5697)

富士市青葉台小学校環境授業

実施企画書(案)

NPO法人富士市のごみを考える会

- 日時：第1日目 平成24年7月5日(木) 午後13:40~15:15
- 第2日目 平成24年7月13日(金) 午前8:00
- 第3日目 平成24年9月4日(火) 午前10:25~12:05
- 対象：富士市青葉台小学校4年生3クラス 88名 1クラス4班 合計12班
- 事業内容
 - ① 3R紙芝居
 - ② 生ごみ資源化:「EM ぼかし」及び「だっくす食ん太君」の体験
 - ③ リサイクルについて(テーマは学校からの要望を受けるが事例としてペットボトルを紹介した。)
- ねらい：①ごみを作らないためにはどうしたらよいかを学び気づく。
 - ②ごみは、自分の気づき次第で、ごみではなくなることに気づく
 - ③生ごみは、臭くていやなものと思っていたが、実は地球の宝物であることに気づく
- スタッフ：NPO法人富士市のごみを考える会より、講師派遣4名、スタッフ3~4名
- 生徒持ち物：①生ごみ
- 学校に用意していただくもの
 - ① スクリーン(パソコンとプロジェクターは持ち込みますので、それを投影できるもの)
 - ② 延長コード(パソコン用、プロジェクター用)
 - ③ パソコン・プロジェクターをおく椅子かテーブル1つ
 - ④ ぼかしを作るバケツ(班の数分) バケツ:15個、だっくす食ん太君:3箱
 - ⑤ ぼかし:(小野→ふじひろみ熊谷→学校) 12袋(各班1袋)
 - ⑥ 気づいたことを書き取るノート
 - ⑦ バケツの下に引く新聞紙かビニールシート(生ごみをこぼしたときのため)
 - ⑧ 生徒たちは、班ごとに体育すわりをして、話を聞く体制作り
 - ⑨ 虫眼鏡、
 - ⑩ スプーン(ぼかし用):事例 粉石けんに入っている計量カップ
- 当会で用意する物品
 - ① (3Rのはなしデーター)梅原→小野(USBメモリー化)
 - ② ノートパソコン 小野
 - ③ プロジェクター 小野
 - ④ 生ごみ冊子(フィランセから) 縣
 - ⑤ 写真機 竹内、望月

授業の流れ(案)

7月5日(木)

時間	内容	対象	担当
13:40(5分)	導入 挨拶・スタッフ紹介		先生 (縣)
13:45~14:05 (20分)	富士市のごみの現状について 3R紙芝居 「富士山とごみと私 part 1」	全員	(小野 (梅原)
14:05~14:15 (10分)	「だっくす食ん太君」体験説明	全員	(菅井)
14:15~14:25 (10分)	トイレ休憩		先生
14:25~14:55 (30分)	生ごみ資源化実験 EM ぼかし 組・班ごとに分かれて行なう	全員	(竹内) スタッフ全員
14:55~15:10 (15分)	まとめ・感想発表	全員	(小野)
15:10~15:15	終わりの挨拶	全員	先生

縣：時間管理、

青葉台環境教育

2日目 (7月13日) (金)

授業の流れ (案)

時 間	内 容	担当者
8:00	4年生全員：各班が EM ボカシのバケツを持って 4年生用の畑に集合	先生
8:00~8:10	各班ごとにバケツの生ごみを畑に埋める。目印をつけておくこと。	(小野、竹内)

3日目 (9月4日) (火)

授業の流れ(案)

時 間	内 容	担当者
10:25(5分)	導入 挨拶・スタッフ紹介	先生 (縣)
10:25 ~11:05 (40分)	校庭にて校庭に埋めた生ごみの状況及び 虫等 観察	(縣、竹内) スタッフ 全員
11:05~11:20 (15分)	トイレ休憩	
11:20~11:50 (30 分)	ペットボトルのリサイクルについて	(時田) スタッフ全員
11:50~12:00 (10分)	感想発表	(小野)
12:00~12:05 (5分)	終わりの挨拶	先生

縣：時間管理

NPO法人富士市のごみを考える会
縣 昌司 (63-5697)